

SHARP

ドラム式電気洗濯機

業務用/屋内専用

取扱説明書

形名

ES-HW8



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
ございました。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読み
ください。

この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも
見ることができる所に必ず保管してください。
本書に使用のイラストは説明用のものであり、
実際とは異なる場合があります。

当商品は日本国内向けであり、日本語以外の
説明書はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with
manuals in Japanese only.

もくじ

ページ

準備と確認	安全上のご注意 必ずご確認ください	2
	使用上のお願い 必ずご確認ください	5
	各部のなまえ	6
	●本体	6
	●別売品	6
	●付属品	6
	操作部の見かた	7
●操作パネル	7	
・各キーの説明/電源の入れかた、切りかたなど		
使いかた	運転のしかた	8
	●待機状態の表示(通常モード)	8
	●運転コース	8
	●基本的な使いかた	9
必要なとき	洗剤を投入するとき	10
	●洗剤ポンプを使用するとき	10
	●洗剤を手動で投入するとき	10
	点検のお願い(お手入れのしかた)	11
	●排水ポンプフィルター・排水チューブ	11
	●本体・ドアパッキン・ドア・ドラム(ステンレス槽)	12
	●給水ホース接続口(給水弁用フィルター)	12
	●排水口	13
	●凍結の防ぎかた	13
	●洗剤ケース	13
こんなときは?	14	
エラー表示	16	
保証とアフターサービス	17	
仕様	裏表紙	

本製品を据え付けるときは「据付説明書」、オーナーモード
設定は「オーナーモード説明書」をご確認ください。

安全上のご注意 1

人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたで生じる内容を次のように区分して、説明しています。

	警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。
	注意 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■ お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

	してはいけないこと。
	しなければならないこと。

オーナー(管理者)の方へ

- 利用者や他の人々への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守ってお使いいただけるよう管理・指導をしてください。
- 洗濯機に表示している注意ラベルが破れたり、はがれたり、また絵や文字が見えにくくなった場合はお買いあげの販売店で新しい注意ラベルをお求めいただき、必ず貼り替えてください。
- 洗濯機から離れた場所で操作する際、対象となる洗濯機の周囲に他の人がいないことを確認して操作するように利用者への説明をお願いします。
 - ・ 集中管理端末の場合は、端末は操作対象の洗濯機が見える位置に配置し、また、端末は小さなお子様は操作できないように管理・指導をしてください。
 - ・ 携帯端末の場合は、洗濯機の本体周囲または携帯端末の画面にて注意喚起をしてください。

警告 火災や感電、けがを防ぐために

電源や電源プラグ・コードは、以下のことはおこなわない

- 傷んだものは使わない
- 束ねない、無理に曲げない
- 傷付けない、加工しない
- 重いものを載せない、はさみ込まない
- 引っ張らない、ねじらない
- コードを持って抜かない
- ぬれた手で抜き差ししない
- コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
(感電・ショート・発火の原因)
- 破損の場合はお買いあげの販売店へ修理をご相談ください。

交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う

(電源や定格が異なったり、他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱して発火の原因)

電源プラグの刃および、刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭く

(火災の原因)

浴室など湿気の多い所や風雨にさらされる場所に置かない

(感電や漏電による火災の原因)

アースを確実に取り付ける

(故障や漏電のときに感電の原因)

アース線接続 ● アース工事は販売店または、最寄りの電気工事店にご相談ください。

引火物を本体の中に入れたり、近付けない

- 灯油・ガソリン・シンナー・アルコールなどをドラムの中に入れたり、それらの付着した衣類を洗濯しない。
(爆発や火災の原因)

プラスチック部には絶対に火気を近付けない

(火災の原因)

ぬれた手で操作パネルに触れたり、操作しない

(感電や漏電の原因)

お手入れ・点検の際は本体各部に直接水をかけない

(ショート・感電の原因)

お手入れ・点検の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く

(感電やけがの原因)



警告

火災や感電、けがを防ぐために



改造しない。また修理技術者以外の人、分解したり修理をしない (火災・感電・けがの原因)

- 点検や修理は、お買いあげの販売店にご相談ください。



ドアを開閉するときは、ドアに手や指をはさまない

- ドア取付金具(ヒンジ部) **6ページ** の近くに手を置いたまま、ドアを開閉しないでください。特にお子さまにはご注意ください。(ドアと本体の間に手や指をはさんでけがをする原因)



**子どもには触れさせない
近くに台を置かない**

(ドラム内に閉じ込められたり、やけど・けがの原因)



異常・故障時は、点検・修理を依頼する

- 異常を感じたら、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買いあげの販売店に必ず点検・修理を依頼する(感電や漏電・ショートなどによる火災の原因)
- ドアのロックがかからない場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼する(けがの原因)



運転中は、本体の下に手足などを入れない

- 付属の底カバーを取り付けてください。(電気部品・回転部があり、けがや感電の原因)



注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために



毎日の始業前に必ず水栓とホースの接続を確認する

(ねじがゆるんだり、ホースのロックレバーが確実に掛かっていないと水漏れして水浸しなどの思わぬ被害の原因)



長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、水栓を閉じる

(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因・万一の水漏れの原因)



お手入れ後は、排水ポンプフィルターを必ず取り付け、排水チューブを元にもどして使用する (水漏れして床が水浸しになる原因)



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

(感電や、ショートして発火の原因)



水が入ったままで停止したときは管理者に連絡する

- ドアを開けずに管理者に連絡してください。(水が入った状態でドアを開けると本体内部に水がかかり、感電・漏電・やけどの原因)



水栓から温水を給水する場合、50℃以上のお湯は使用しない

(プラスチック部品の変形や痛みによる感電や漏電・故障の原因)

安全上のご注意 2



注意

漏電やけがを防ぎ家財などを守るために



運転前に衣類の取扱表示と衣類の中身を確認する

- 洗濯できないものがあるため、衣類の取扱表示を見て確認する。
(衣類の損傷を防ぐため)
- ポケットの中にマッチやライター、ヘアピンなどが入っているときは取り出す。
(衣類と本体の損傷を防ぐため)



ロックされた状態のドアを無理に開けない

(ドアやロック機構部が破損して、予期せぬけがの原因)



ドアにぶらさがったり無理な力を加えない

(本体の故障や水漏れの原因)



本体の上へのぼったり、壊れやすい物を置かない

(変形・破損によるけがや運転時の振動により、置いた物が落下・破損する原因)



防水性の衣類やシートは洗濯しない

- レインコート
- サウナスーツ
- ウインドブレーカー
- ダウンジャケット
- スキーウェア
- 運動用サポーター
- 理美容用クロス
- 自転車や自動車などのカバー
- オムツカバー
- 寝袋
- 防水シート
- 防水エプロン
- など

(水が抜けないため脱水中に異常振動を起こし、本体の転倒・損壊でけがをしたり、衣類や床・壁を破損する原因)



用途外には、使用しない

- ドラムに衣類以外のものや人、動物を入れて運転しないでください。
(洗濯機本来の用途以外のものを洗濯・脱水しない。異常振動を起こし、本体の損壊や、けがの原因)



大型の物は洗濯しない

- カーペット
- 水を通さないカーペットカバーやマット類
(裏にゴムなどがついている物)
- ぬいぐるみ ●まくら ●布団 など

(脱水中に異常振動を起こし、周囲の壁などの損壊やけがの原因)



本機は以下に類似する用途で使用する

- 店舗、事務所、農家および他の作業環境内のスタッフ用区域
- ホテル、モーテルなどの宿泊施設で顧客が使用するもの
- コインランドリー内の共用区域



毛布洗いネットを使用しない

(脱水中に異常振動を起こし、周囲の壁などの損壊やけがの原因)



本機を廃棄するなどのために一時的に保管するときは、ドアのガラスを取りはずす

- 子供が閉じ込められるおそれがあります。ドアのねじをすべてはずし、ガラスを取りはずしてください。



ドアを閉めるとき、衣類などはさまない

(水漏れなど故障の原因)

使用上のお願い

お守りください

排水ポンプフィルターは、毎日点検(お手入れ)する。点検(お手入れ)後は確実に取り付ける

ドアパッキンやガラス面の糸くず・毛髪などは取り除く

本体やドアに洗剤類が付いたら、すぐに拭き取る

- 拭き取らずに放置すると、本体やドアの変色・傷み・割れの原因になります。

洗濯物を出し入れするときに、ドアパッキンを傷付けない

洗濯物はドラム(ステンレス槽)からはみ出さないように入れる。

- はみ出ていると洗濯物がドアとドアパッキンの間にはさまり、衣類が破れたり、ドアパッキンが破損して水漏れする原因になります。

投入口を揺すらない

衣類は各コースで決められた容量以内で使用する

- 決められた容量より多く入れると、汚れ落ちが悪くなったり、うまく脱水できなくなります。

衣類1枚など極端に少ない量で洗濯運転をおこなわない

- 極端に少ない量で洗濯運転をすると、脱水できない場合があります。

ポケットの中のものは取り出す

- 洗濯物や本体の傷付きを防ぐために、硬貨・ヘアピン・カーテン金具などの金属片などは、必ず取り除いてください。

以下のものは洗濯ネットに入れる

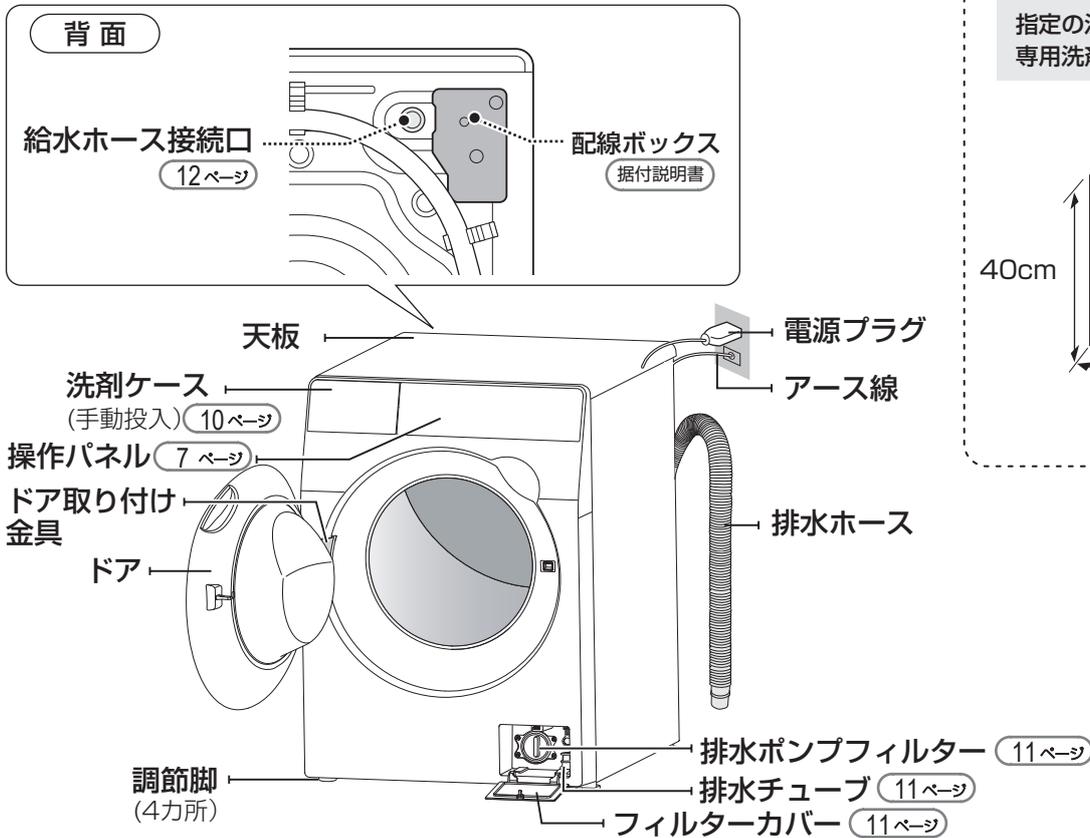
- デリケートな衣類(薄い化繊やレース)
- 小物(靴下・ハンカチなど)
- 軽やかさばる衣類(フリース素材など)
- 飾りのついた衣類

- 衣類と本体の傷付きを防ぐために洗濯ネットをご使用ください。
- 洗濯ネットに入れる量は少なめにしてください。多く入れると洗濯性能の低下や脱水中に片寄ったりします。また、運転中に洗濯物が飛び出して本体が損傷する場合があります。

各部のなまえ

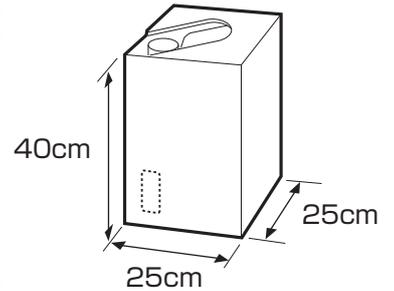
 洗剤ポンプはお客様にてご用意ください。

本体



別売品

指定の洗剤をご使用ください。
専用洗剤(柔軟剤入り): 63PS

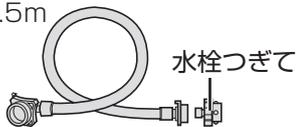


• いたずら防止のため、赤いスポンジ(注意ラベル付き)があります。

付属品

● 給水ホース(1組) (据付説明書)

長さ 約1.5m



● ボルトキャップ (4個) (据付説明書)

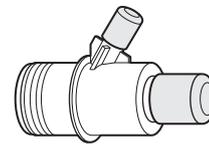
(4個)



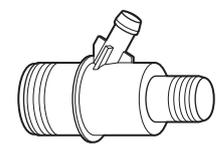
● 排水つぎてセット (据付説明書)

排水つぎて(1個)

工場出荷時はキャップがそれぞれ付いています。



キャップ付き



キャップをはずした状態

キャップは、洗濯機や乾燥機をそれぞれ単体で設置する場合に使用します。

● 洗濯機側用
キャップ大(1個)

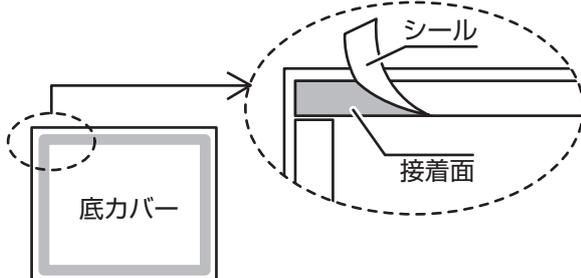


● 乾燥機側用
キャップ小(1個)



● 底カバー (1個) (据付説明書)

工場出荷時は製品の背面にセットしています。



● 保証書 (1部)



クリップ大(1個)
洗濯機排水ホース用

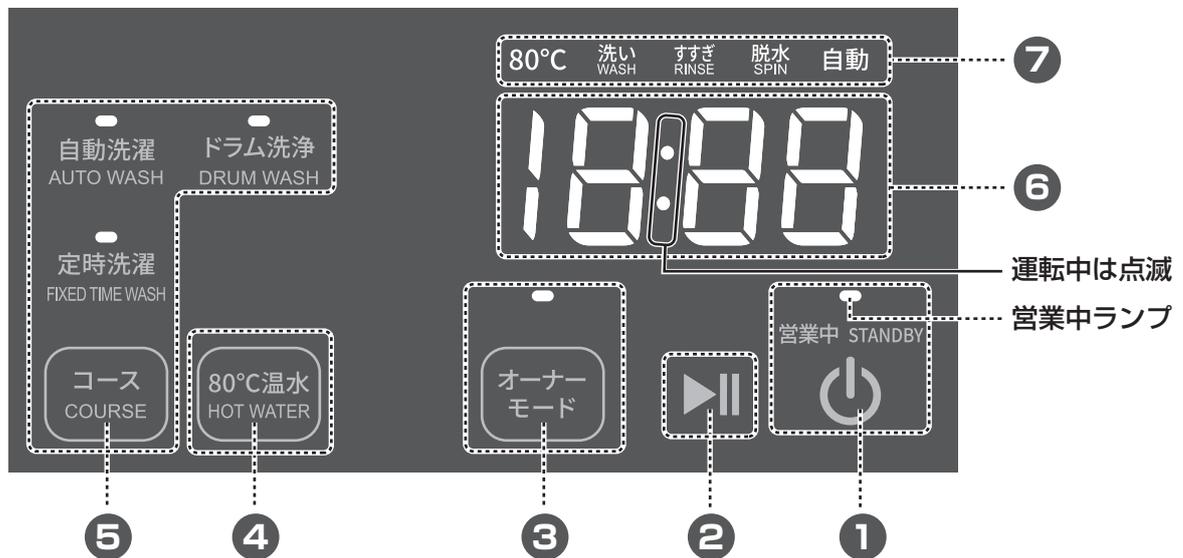


クリップ小(1個)
乾燥機外部排水ホース用

操作部の見かた

操作パネル

➤ ⏪: 点灯 ➤ ⏩: 点滅



⑦ 運転中は点滅
営業中ランプ

1 電源キー

- タッチすると「ピーッ」と鳴って営業中ランプが点灯し、待機状態 (8 ページ) になります。
- 電源「入」時は「自動洗濯」コースが設定されています。
- 電源キーを「ピーッ」と鳴るまで5秒以上長押しすると電源が切れます。



2 スタート・一時停止キー

- タッチすると運転スタートします。運転中にタッチすると一時停止します。

3 オーナーモードキー

- 外部通信で乾燥機を操作するモードに設定する際に使用します。

4 80°C温水コースキー

5 コースキー

- タッチすることによりコースが切り替わります



6 数字表示部

- 運転時間(残り時間)、エラー番号を表示します。運転中は「:」が点滅します。

7 運転内容/進行表示

- 各コースの運転内容や行程を表示します。
- 運転中の行程が点灯します。



例) 自動洗濯コースのすすぎ行程中で残り時間が25分の場合

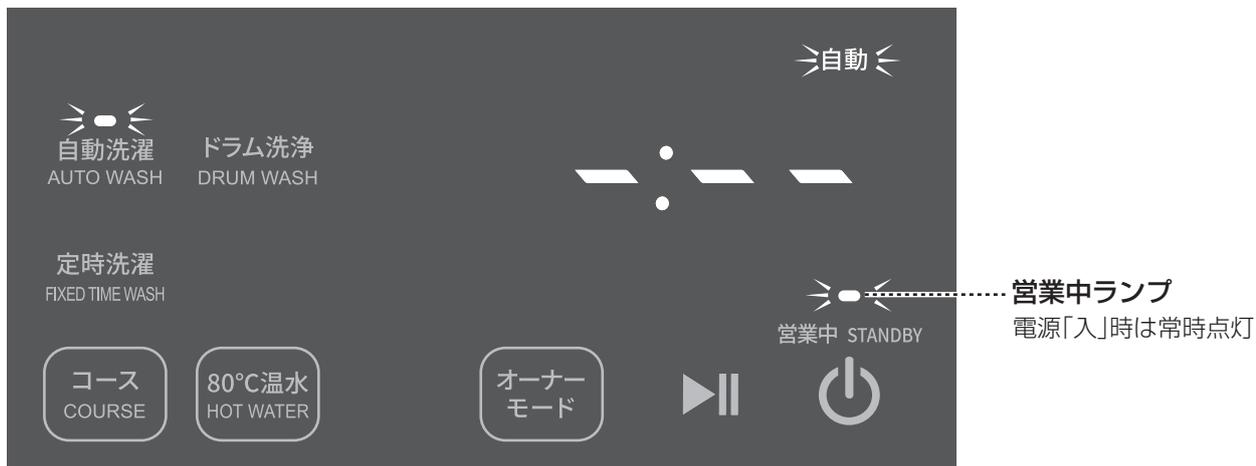
ご注意

- 操作パネルはぬれた手でさわらないでください。また汚れていたり、水や洗剤、柔軟剤などが付いたときは、水を含ませたやわらかい布で拭き取ったあと、から拭きしてください。
- 手袋やばんそうこうをしたり、爪やとがったもので操作しないでください。指で直接操作してください。

運転のしかた

待機状態の表示 (通常モード)

電源キーを押すと、「自動運転コース」が設定され、待機状態の表示になります。



- 待機状態中は操作を受け付けません。
- 運転終了後は、ドアを開けるまで「End」を表示し、ドアを開けると待機状態になります。(自動で電源は切れません)
- 電源を切るときは、電源キーを「ピーッ」と鳴るまで5秒以上長押しします。

運転コース

コース	洗濯量 の上限	運転内容				
		洗い	すすぎ	脱水	所用時間の目安※	水量
自動洗濯 洗濯量により運転時間が異なります	8kg	約23分～33分	2回	9分	約58分～75分	80L
定時洗濯 洗濯量によらず運転時間は約35分です※	8kg	約13分	1回	9分	約35分	50L
80°C温水 約80°Cの温水で洗濯します	4kg	最大5時間35分	2回	9分	約6時間	80L
ドラム洗浄 洗濯前にドラム内を洗浄します	—	約55秒	—	30秒	約2分	—

ご注意

80°C温水コースをご使用の際は、あらかじめ衣類の取扱い表示で洗濯水温の上限をご確認ください。

※ 給水量が8L/分の場合の目安時間。給・排水事情により長くなることがあります。

洗濯量はJIS(日本産業規格)に規定の布地によるものです。

ワイシャツ
(混紡約200g)



ブラウス
(混紡約200g)



長袖アンダー
シャツ
(綿約130g)



パジャマ(上下)
(綿約500g)



スリッパ
(混紡約150g)



トランクス
(綿約80g)



靴下
(混紡約50g)



タオル
(綿約70g)



バスタオル
(綿約300g)



シーツ
(綿約500g)



基本的な使いかた

1 運転前にドラム内を洗浄したいとき

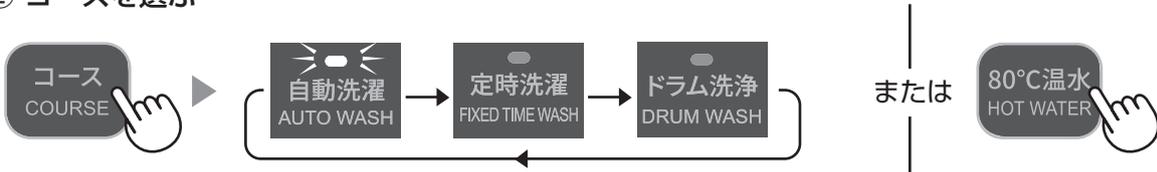


▶ 約2分間洗浄 ▶ 終了音「ピーピーツ」が10秒間鳴る

● 洗濯物はいれないでください。

● 終了後は、自動でロック解除します。
(「End」表示はありません)

2 ① 洗濯物を入れてドアを閉める ② コースを選ぶ



● コースを選んでから10分以上運転開始されない場合、待機状態 (8 ページ) に戻ります。

3 例 自動洗濯コース、運転時間約58分

スタートする



- 洗濯量計量後、ドアをロックして運転開始します。
- 定時洗濯、ドラム洗浄コースは計量しません。
- 運転中は「■」が点滅します。

4 運転が終了すると自動でロック解除される (終了音「ピーピーツ」が10秒間鳴る)

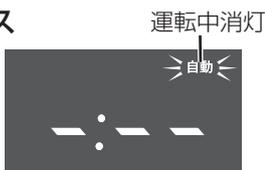
● ドアを開け、衣類を取り出してください。



ドアを開けるまで「End」表示
● ドアを開けると待機状態に戻ります。(8 ページ)

コース選択時の表示

自動洗濯コース



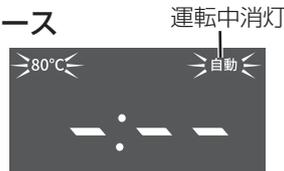
ドラム洗浄コース



定時洗濯コース



80°C温水コース



洗剤を投入するとき

 指定の洗剤の使用量はすべてのコースで56mLを推奨します。

洗剤ポンプを使用するとき

ご注意

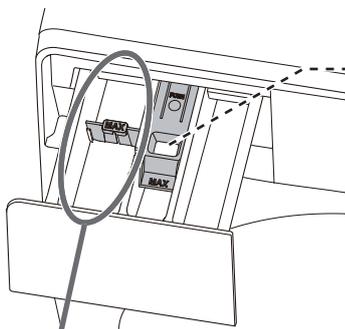
本機は洗剤投入ポンプを使用して洗剤を投入することができます。

- 洗剤投入ポンプはお客様にてご用意ください。
- 洗剤投入ポンプの接続方法は据付説明書をご確認ください。
- 指定の洗剤を使用してください。(6 ページ)
- 洗剤投入ポンプを使用しているときは、洗剤を手動投入しないでください。また、洗剤類は入れ過ぎないでください。入れ過ぎると泡が大量に発生し洗剤能力が低下したり、本体に様々な影響を与えます。

洗剤を手動で投入するとき

ご注意

- 運転中は洗剤ケースを開けないでください。
- 指定の洗剤を使用してください。(6 ページ)
- 粉末洗剤や塩素系漂白剤は使用できません。
- 本体やドアに洗剤類が付いたら、すぐに拭き取ってください。
【放置すると本体やドアに傷み・割れの発生の原因】
- ジェルボール型・スティック型・香り付けビーズなどは使用できません。
- 洗剤類が洗剤ケース以外にこぼれた場合は、すぐに水を含ませたやわらかい布で拭き取ってください。

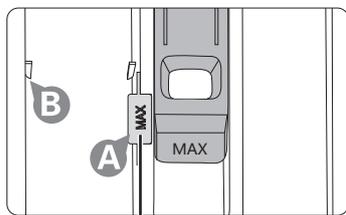


柔軟剤

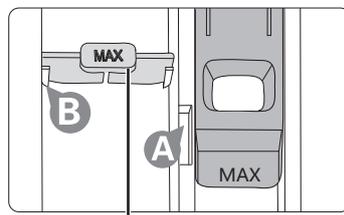
- 最終すすぎ中に自動的に入ります。
- 液体洗剤や粉末洗剤を入れないでください。
- 入れたまま12時間以上放置したり低温のときは固まることがあります。
- 一部の柔軟剤では衣類にまとまって付着すると変色するものがあります。
- 使用量など、お使いの柔軟剤の容器の説明をご確認ください。
- 「MAX」表示の位置を超えないように入れてください。【流れ出る原因】

液体洗剤

- ① 液体洗剤カバーを「B」の位置に差し込む。(工場出荷時は「A」の位置に差し込んであります)

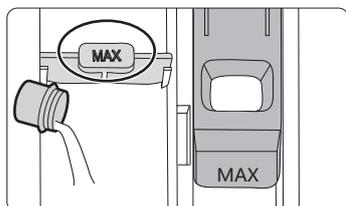


液体洗剤カバー



液体洗剤カバー

- ② 液体洗剤を入れる



- 液体漂白剤(酸素系)を使用する場合も液体洗剤と同じ場所に入れてください。
- 「MAX」表示の位置を超えないように入れてください。【流れ出る原因】

点検のお願い 1

 警告	 本体各部に水をかけない 【ショート・感電の原因】
	 必ず電源プラグを コンセントから抜く プラグを抜く【ショート・感電の原因】

排水ポンプフィルター・排水チューブ

【毎日点検】

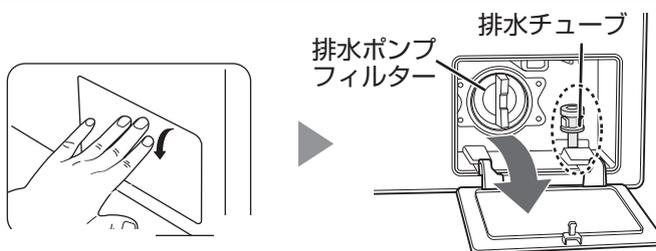
ご注意

- 運転中や温水が出ているときは、排水チューブや排水ポンプフィルターをはずしてお手入れしないでください。【故障やけがの原因】
- お手入れ後は必ず排水チューブを元に戻し、排水ポンプフィルターを確実に取り付けてください。また、はずしたまま運転しないでください。【故障や水漏れの原因】
- 排水チューブや排水ポンプフィルターは必ず正しく取り付けてください。排水ポンプフィルターがはずれていたり、ゆるんだまま使用すると「E03」を表示して運転できません。(16ページ)
- 「E03」(16ページ)を表示しているときは、排水ポンプフィルターが詰まっているおそれがあります。お手入れの際、多量の残水が出る場合がありますので、必ず洗面器などを用意してください。【排水ポンプフィルターが詰まるとはずした際に水漏れや水浸しなど思わぬ被害の原因】

- 緊急の場合や、凍結予防(13ページ)などの場合も、ここから水を抜きます。

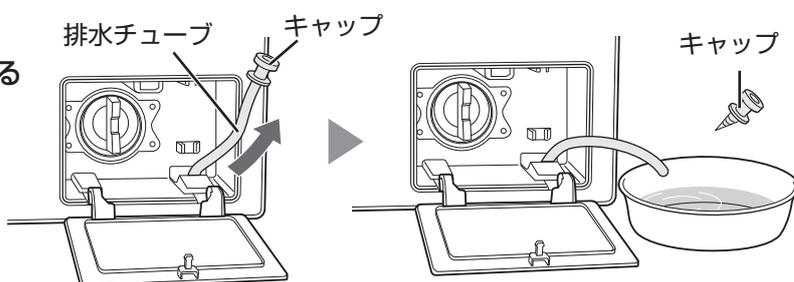
1 洗濯機右下のフィルターカバーを押して開ける

- いたずら防止のため、赤いスポンジ(注意ラベル付)が入っていますので、取り出してください。



2 排水チューブを引き出し、キャップをはずして容器に水を受ける

- キャップは、ねじってはずします。



3 つまみを左に回して排水ポンプフィルターを取り出し、フィルターに付着した糸くずや異物を取り除く

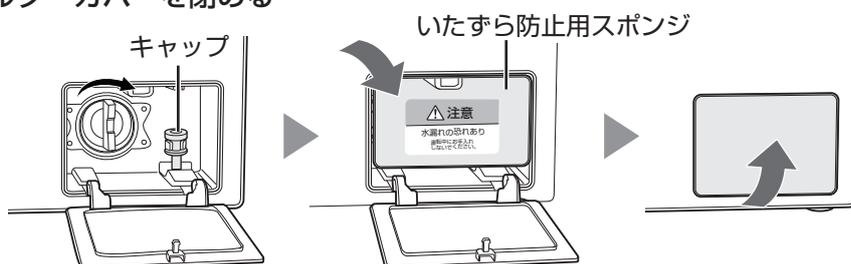


- 水が少量出る場合があります。ぞうきんなどで受けてください。

- 本体側にも糸くずや異物があれば取り除く。【異物が残ると水漏れの原因】

4 排水ポンプフィルターと排水チューブを元に戻し、いたずら防止用の赤いスポンジを元どおり取り付けてから、フィルターカバーを閉める

- 排水ポンプフィルターはしっかり締め付けてください。
- 排水チューブのキャップは必ず取り付けてください。
- 赤いスポンジは注意ラベルが見えるように取り付けてください。



点検のお願い 2

 警告	 本体各部に水をかけない 【ショート・感電の原因】
	 必ず電源プラグを コンセントから抜く プラグを抜く【ショート・感電の原因】

本体・ドアパッキン・ドア・ドラム(ステンレス槽)

水滴・洗剤・糸くず・汚れがいたら

本体・ドアパッキン・ドアは、水を含ませたやわらかい布で拭き取る
ドラムは、よく絞ったやわらかい布で拭く

- 本体やドアの汚れが気になる場合は、台所用中性洗剤を薄めた液をしみ込ませた布で拭き取り、最後に水拭きする。(研磨剤入りの洗剤は使用しないでください)
- 本体やドアに液体洗剤・柔軟剤・漂白剤・洗濯槽クリーナーなどが付いた場合は、すぐに水を含ませた布で拭き取る。【放置するとプラスチック部の変色・傷みや割れ、金属部の腐食の原因】
- ドアパッキンの表裏、また溝の内側に付いた糸くずやごみは必ず取り除く。
【次の運転中に衣類に付着したり水漏れする原因】
- ドアパッキンにめめりがあるときは、酸素系漂白剤をしみ込ませた布で全周を拭き取り、最後に水拭きする。(やわらかいため、傷が付かないようにご注意ください)
- ドラムのさびに気付いたら、市販のステンレス用(台所用)洗剤で拭き取る。
- クレンザー・シンナー・ベンジン・アルコール・灯油・化学ぞうきんなどは使わない。
- 操作パネルが汚れていたり、水や洗剤、柔軟剤などが付いたときは、水を含ませたやわらかい布で拭き取ったあと、から拭きする。



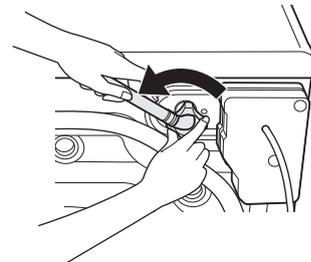
給水ホース接続口 (給水弁用フィルター)

水の出が悪くなったら 給水ホースをはずして歯ブラシなどでごみを取り除く

お手入れ前に給水ホースの水抜きをする

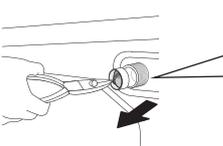
- 水が飛び散るのを防ぐため、以下の手順で水圧を抜く

- ① 水栓を閉じる
- ② 「ドラム洗浄コース(9ページ)」を約15秒運転してから電源を切る(「電源」キーを5秒以上長押し)
- ③ 給水ホースをはずし、ホース内の水を容器などで受ける



1 給水弁用フィルターを取り出して水洗いする

- 先の細いラジオペンチなどでそっと引きしてください。



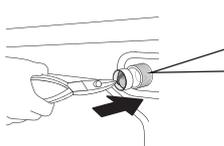
給水弁用フィルター



つまんで取りはずす

3 給水弁用フィルターを元どおり取り付け

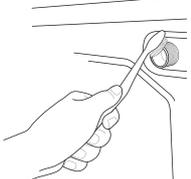
- 給水弁用フィルターは必ず取り付けてください。
【取り付けないと水漏れや故障の原因】



給水弁用フィルター

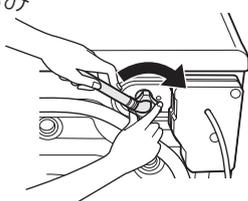


2 歯ブラシなどで給水口のごみを取り除く



4 給水ホースを元どおり取り付ける

- 接続部の傾き・ぐらつき・ゆるみがないか確かめてください。
【水漏れの原因】
- 水栓を開けて水漏れしないか確認してください。



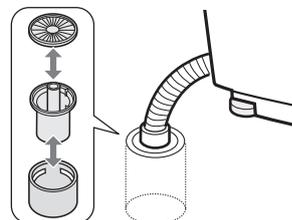
排水口

E03を表示したときや、においが気になったら

はずして掃除する【糸くすがたまと、においや水漏れの原因】

排水口からホースをはずすときは、ぞうきんなどをそえてください。
ホースから残水が出ることがあります。

- ① 排水口からホースをはずす
- ② 上部の部品から順にはずして、水洗いする(糸くずは取り除く)
- ③ 元の状態に戻す



凍結の防ぎかた

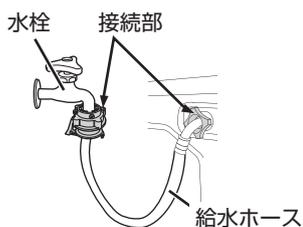
凍るおそれのある場所には
設置しないでください

凍結を防ぐために

- ① 水栓を閉めて、
給水ホースをはずし、
ホース内の水を抜く
(12ページ)
- ② 排水ポンプフィルター
や、排水チューブの水
を抜く (11ページ)

凍結したときは

- 水栓と接続部は、
蒸しタオルで包む。



- 約40℃のお湯を入れ
10分程度放置する。

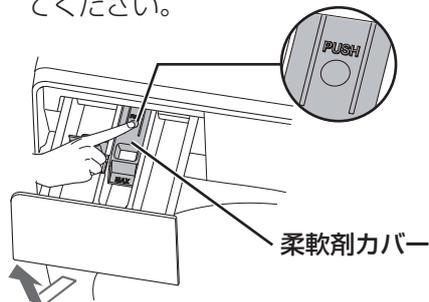


- 給水ホースは
約40℃のお湯に
つける。

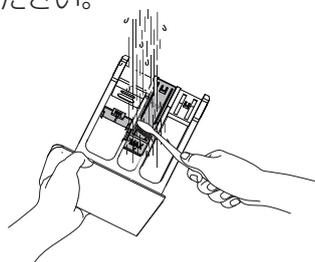


洗剤ケース【汚れたら】

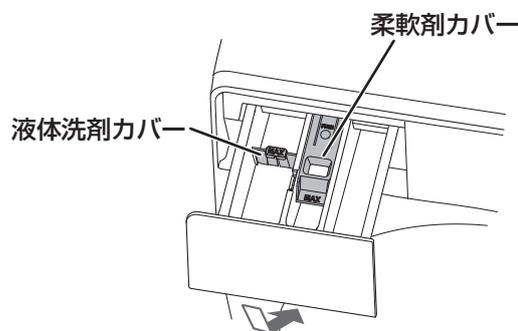
- 1 洗剤ケースを引き出し、柔軟剤カバーをはずす
 - 柔軟剤カバーの「PUSH」の凹みを押して引き出して
ください。



- 2 洗剤ケースを水で洗う
 - 凹部に洗剤類が固まっているときは歯ブラシなど
で取ってください。



- 3 よく乾かしてから、元どおり取り付け
 - 液体洗剤カバーや柔軟剤カバーなどの
付属品をはずした場合は、忘れずに取り
付けてください。



こんなときは？

※オーナーモード：通信システム(ランドリー管理システム)に接続している場合

こんなとき	お調べください
電源が入らない 運転がスタートしない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ●「スタート」キーをタッチしましたか。 ●電源を一切受け付けないときは、電源プラグを抜き、1分ほどしてから差し直してください。それでも電源を受け付けないときは、故障のおそれがありますので、電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。
停電したとき	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中に停電で電源が切れた場合、運転内容を記憶しています。通電後、自動的に運転を再開します。 ●待機状態で停電したときは、「電源」キーで電源を入れ直してください。但し、オーナーモード*の場合は通電すると自動的に待機状態に復帰します。
運転中に電源を切ったとき	<ul style="list-style-type: none"> ●電源プラグを抜いて電源を切った場合、電源プラグを差し直すと、自動的に運転を再開します。(停電時と同じ状態) ●「電源」キーをタッチして電源を切った場合、再度「電源」キーで電源を入れ直してください。運転は初めからやり直してください。 ●電源が切れていても、規定量以上の水が残っている場合、ドアは開きません。排水のため、管理者に連絡してください。
異常な音がる 振動が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ●輸送用固定ねじをはずしましたか。 ●本体に傾きやがたつきはありませんか。がたついている場合は、調節脚で調節してください。 ●洗濯機が他のものに接触したりしていませんか。 ●洗濯物が片寄りやすくなっていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物の中に吸水すると重くなる衣類(ジーンズやトレーナーなど)が1枚だけ入っていたり、吸水すると重くなる衣類を1枚だけで洗っていませんか。バスタオルや他の洗濯物といっしょに洗ってください。 ・1つの洗濯ネットに衣類を多く入れていませんか。他の洗濯ネットに小分けして洗ってください。
排水ポンプから異音がる	<ul style="list-style-type: none"> ●排水ポンプフィルターに糸くずなどがたまっていますか。排水ポンプフィルターは、毎日必ず点検してください。(11ページ)
表示されている運転時間と異なる	<ul style="list-style-type: none"> ●自動洗濯コースは洗濯物の量や給水時間などによって運転時間が異なるため、表示の残時間と実際の運転時間が異なる場合があります。
表示時間が  のまま運転が終了しない	<ul style="list-style-type: none"> ●脱水の片寄りを検知すると、片寄りを補正するために脱水をやり直したり、くり返したりするため運転時間が延長されますが、残時間はカウントし続けます。(表示時間は減り続けます)残時間表示「0:01」になってからも、約5～10分程度運転し続けることがあります。
 「デモ表示」になっている (すべてのランプが点灯)	<ul style="list-style-type: none"> ●「コース」キーと「80℃温水」キーを同時に3秒以上長押しして解除してください。(16ページ)
すすぎ時間が長くなる 低速で回転する	<ul style="list-style-type: none"> ●衣類に片寄りがある場合など、回転時のバランスを保つために、すすぎ時間を増やしたり、低速で回転したりします。
給水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●水栓を開けましたか。 ●水圧は十分ですか。 ●洗濯機のドアは確実に閉まっていますか。 ●給水ホースがねじれたり、折れ曲がったりしていませんか。 ●給水弁用フィルターが詰まっていますか。(12ページ) ●排水ホースの固定部をはずしていませんか。
脱水ができない 排水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ●排水ホースが詰まっているときは、点検・修理を依頼してください。 ●排水ポンプフィルターが詰まっていますか。(11ページ) ●排水ホースの処理は正しくおこなっていますか。排水エルボは排水口にしっかり差し込まれていますか。

こんなとき	お調べください
運転が終了しているのにドアが開かない	<ul style="list-style-type: none"> ●「End」が表示されていますか。ドアロックが解除されるまでに少し時間がかかる場合があります。
運転中にドアを開けたい	<ul style="list-style-type: none"> ●運転中は安全のため、自動的にドアをロックします。開けたいときは「スタート」キーをタッチして一時停止します。(洗濯中に開けると、ドアのガラス面に付いた水や泡が床に流れる場合があります。タオルなどで拭いてください) ●ドアロック中にドアを開けようとするとき「E02」表示をすることがあります。
一時停止してもドアが開かない	<ul style="list-style-type: none"> ●ドラム内の水が規定量より多いと検知したときは、水漏れ防止のためドアを自動ロックします。排水するとドアを開けられます。 ●80℃温水コースなど、温水を使用したときはすぐにドアを開けられません。一時停止後、冷却してからドアロックが解除されます。
水漏れする	<ul style="list-style-type: none"> ●ドアを確実に閉めていますか。 ●給水ホースは正しく取り付けられていますか。 ●排水ホースの処理は正しくおこなわれていますか。付属の排水つぎては排水エルボに確実に取り付けられていますか。また、排水エルボは排水口に正しく差し込まれていますか。 ●排水口が詰まっていますか。(13ページ) ●排水ポンプフィルターを確実に取り付けていますか。(11ページ) ●排水チューブのキャップを取り付けていますか。また、元の位置に戻していますか。(11ページ) ●指定の洗剤以外を使っていませんか。(泡立ちの多い洗剤を使用すると、泡が大量に発生し、あふれた泡で床をぬらすことがあります)
洗剤ケースから水滴が垂れる	<ul style="list-style-type: none"> ●気温・湿度・水温など設置環境により、結露した水が洗剤ケースから垂れることがあります。やわらかい布で拭き取ってください。 ●80℃温水コースで運転した場合も水滴が垂れることがあります。やわらかい布で拭き取ってください。
操作部のキーが反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ●操作パネルに水や汚れが付いていませんか。やわらかい布で、から拭きして取り除いてください。 ●操作パネルにシールやテープを貼っていませんか。シールやテープをはがしてください。 ●手袋やばんそうこうをしたり、爪やとがったもので操作していませんか。指で直接操作してください。 ●キーの中央から離れたところをタッチしていませんか。中央をタッチしてください。 ●キーをタッチしてすぐに指を離していませんか。少し長めにタッチしてください。 ●タッチするときに他のキーに触れていませんか。 <p>以上を確認しても反応しない場合は、いったん電源を切り、しばらくしてから入れ直してください。</p>
ドラム内のおいが気になる	<ul style="list-style-type: none"> ●市販のドラム式用洗濯槽クリーナー(酸素系)をお使いください。ご使用方法などは、容器の表示に従ってください。 ●塩素系の洗濯槽クリーナーは使用しないでください。 ●通信システム(ランドリー管理システム)に接続している場合は、オーナーモードに設定し、槽洗浄コースをご利用ください。
脱水のみおこないたい	<ul style="list-style-type: none"> ●管理者に連絡してください。 ●通信システム(ランドリー管理システム)に接続している場合は、オーナーモードに設定し、脱水コースをご利用ください。

エラー表示

エラー表示・内容	ご確認ください	再スタート
E01 給水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 水栓を開けましたか。 ● 水圧は十分ですか。 ● 給水ホースがねじれたり、折れ曲がったりしていませんか。 ● 給水弁用フィルターが詰まっていますか。 <small>(12ページ)</small> ● 排水ホースの固定部をはずしていませんか。 ● 排水ポンプフィルターを確実に取り付けていますか。 <small>(11ページ)</small> 	「スタート」キーをタッチする
E02 ドアが開いている	<ul style="list-style-type: none"> ● ドアを確実に閉めていますか。 ● ドアロック中に開けようとしても表示することがあります。(表示が消えない場合はドアを軽く押し込む) 	ドアを確実に閉め、「スタート」キーをタッチする
E03 排水ができない	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">● 排水ポンプフィルターをお手入れしてください。 <small>(11ページ)</small></div> <ul style="list-style-type: none"> ● 排水口が詰まっていますか。 <small>(13ページ)</small> ● 排水ホースがつぶれていたり、詰まったりしていませんか。 ● 排水ホースの処理を正しくおこなっていますか。 	「スタート」キーをタッチする
E04 脱水ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 洗濯物が片寄りやすくなっていますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・洗濯物がからまっているときは、ほぐしてください。 ・洗濯物の中に吸水すると重くなる衣類(ジーンズやトレーナーなど)が1枚入っていたり、吸水すると重くなる衣類を1枚だけで洗濯していませんか。ぬれたバスタオルなどを1~3枚追加して、もう一度脱水してください。 ● 本体が傾いたり、がたついていませんか。 	「スタート」キーをタッチする
E ... などの表示のとき	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源をいったん切り、電源プラグも抜いてください。1分ほどしてから差し直し、電源を入れてください。再度同じ表示をするときや、操作を一切受け付けなときは、故障のおそれがありますので、水栓を閉じて電源プラグを抜き、すぐに点検・修理を依頼してください。 	

● 以下の内容は故障やエラーではありません。



「デモ表示」になっている (すべてのランプが点灯)

● 「デモ表示」とは、店頭などで商品の特長や機能を説明するための表示です。以下の方法で解除してください。



▶ 「ピーッ」と鳴って電源が切れる

保証とアフターサービス

修理を依頼されるときは **出張修理**

- 1 「こんなときは？」(14,15 ページ) や「エラー表示」(16 ページ) などをお調べください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、まず水栓を閉じ、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に次のことをお知らせください。

- 品名：ドラム式電気洗濯機
- 形名：(本書の表紙に記載の形名)
- お買いあげ年月日 ・ 故障の状態 (具体的に)
- ご住所 ・ お名前 ・ 電話番号 ・ ご訪問希望日

便利メモ お買いあげの際に記入されると便利です

販売店名
電 話 () —
お買いあげ日 年 月 日

保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金

下記内容で構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金
部品代	修理に使用した部品代金
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金

保証書(別添)

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間…お買いあげの日から6カ月です。**
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はドラム式電気洗濯機の補修用性能部品を、製品の製造打切後、6年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

廃棄するときは

製品を廃棄される場合は専門の廃棄業者へご依頼ください。詳しくはお買いあげの販売店にご相談ください。

免責事項について

本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。

愛情点検



長期で使用的場合は商品の点検を！ こんな症状はありませんか？

- 電源を入れても、動かないときがある。
- ドラムが止まりにくい。
- 水漏れする。(ホース・水槽・水栓つぎてなど)
- こげくさいにおいがする。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- さわるとビリビリ電気を感じる。
- 電源コード、プラグが異常に熱い。
- その他の異常・故障がある。

事故防止のため、ご使用を中止してください。
水栓を閉じ、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。

- 左記症状がなくても、お買いあげ後5年程度たちましたら、安全のためや能力低下を防ぐため、点検をおすすめします。
- 点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

仕様

- 下表は日本電機工業会の自主基準による。
- 本機はヘルツ(Hz)フリーです。転居により電源周波数が変わっても、部品の取り換えや調整は不要です。

種類	ドラム式電気洗濯機	洗濯の方式	ドラム式
電源	100V 50/60Hz共用	水道水圧	0.03~0.8MPa
標準洗濯・脱水容量	8.0kg (乾燥布質量)	外形寸法	幅598×奥行695×高さ850(mm) (奥行には排水ホース、配線ボックス含む)
標準使用水量	80L (自動洗濯コース)		
定格消費電力	850W	製品質量	約77kg
運転音	洗い時36dB、脱水時52dB		

シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地